



発行所 神奈川県保険医協会 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 (TSプラザビルディング2階)
電話 045-313-2111 (代表) FAX 045-313-2113 横浜中央郵便局私書箱第319号
購読料 一部300円(会員の購読料は会員料金であります) 発行人 田中麻衣子

表1 2024年度通常個別指導「実施件数」内訳

区分	選定時 医療 機関数	情報提供		再指導		高点数		その他		計							
		24年度 当初 計画数	選定	実施	24年度 当初 計画数	選定	実施	24年度 当初 計画数	選定	実施	24年度 当初 計画数	選定	実施				
医科	病院	334	0	0	0	1	1	1	0	11	0	0	0	1	12	1	
	診療所	6,091	5	7	6	72	74	52	2	142	0	2	4	4	81	227	62
	医科計	6,425	5	7	6	73	75	53	2	153	0	2	4	4	82	239	63
	歯科	4,813	9	18	18	70	74	31	4	111	0	7	2	2	90	205	51

表2 2024年度「実施結果」内訳

※2025年12月現在。厚生局開示資料を協会で一部改変。

区分	指導後の措置等						
	措置済みのもの				未措置のもの		合計
	概ね妥当	経過観察	再指導	要監査	中断中	通知未発	
通常個別指導	医科 (割合)	0 0.0%	41 65.1%	22 34.9%	0 0.0%	0 0.0%	63
	歯科 (割合)	2 3.9%	24 47.1%	24 47.1%	0 0.0%	1 2.0%	51
新規個別指導	医科 (割合)	59 24.2%	154 63.1%	31 12.7%	0 0.0%	0 0.0%	244
	歯科 (割合)	23 20.2%	69 60.5%	22 19.3%	0 0.0%	0 0.0%	114

表3 確定した返還金内訳等

※一部非開示

区分	返還対象機関等数	返還金額(円)	返還金額内訳	
			令和5年度以前実施分 返還対象機関等数	令和6年度実施分 返還対象機関等数
通常個別	医科 病院	1	-	1
	医科 診療所	41	51,112,278	28 45,744,638
	医科計	42	-	29
	歯科	26	29,890,713	24 29,854,593
新規個別	医科 病院	0	0	0
	医科 診療所	162	4,557,079	144 4,396,549
	医科計	162	4,557,079	144 4,396,549
	歯科	57	795,838	33 699,123
施設基準調査	医科 病院	14	323,995,524	14 323,995,524
	医科 診療所	0	0	0
	医科計	14	323,995,524	14 323,995,524
	歯科	0	0	0

通常個別指導の返還金額は、前年度は約100万円、前々年度は約74万円であることから増加傾向にある。

新規除くの実施件数は、医科63件、歯科51件(表1)で、23年度(医科39件・歯科47件)と比べると歯科は同水準だが、医科は20件以上多く実施されていた。実施理由の内訳は、医科が情報提供6件(23年度5件)、再指導53件(同30件)、その他4件(同4件)。歯科が情報提供18件(同21件)、再指導31件(26件)、その他2件(同0件)だった。「その他」とは、集団的個別指導の欠席や注意・戒告など再指導や情報提供、高点数による選定に該当しない場合を指すが、24年度については新規個別指導

24年度の通常個別指導(新規除く)の実施件数は、医科63件、歯科51件(表1)で、23年度(医科39件・歯科47件)と比べると依然として高水準で推移している。

通常個別指導
医科3割強、歯科5割弱が再指導

く実施されており、高点数を及ぼしたことが考えられること。

新規個別指導
歯科再指導率が前年より低下、医科は高止まり

で47.1%と、「再指導」と同数となっている。

杏林往来

旧保険証の扱いが再変更された。6月の疑義解釈で、国保や後期高齢者が「有効期限切れの健康保険証」

新規開業後概ね1年ほどで実施される「新規個別指導」の件数は医科244件、歯科114件。「再指導」22件で再指導率は34.9%。「概ね妥当」は0件、「経過観察」が41件で65.1%を占めた。再指導率は23年度の33.3%より微増。再指導と未実施分が含まれて

24年度の通常個別指導の実施結果の内訳(表2)は医科244件、歯科が「再指導」22件で再指導率は34.9%。「概ね妥当」は0件、「経過観察」が41件で65.1%を占めた。再指導率は23年度の33.3%より微増。再指導と未実施分が含まれて

社会保障の理念 熱く語る声

運動への活力 鮮明に

元副理事長 高橋 健作

小笠原先生のご逝去の報に接し、深い悲しみと衝撃を禁じ得ません。私が開業したばかりで不安な日々を過ごしていた折、協会に入会し、初めて歯科部会に参加した際、温厚にして保険医運動に情熱を傾けられる先生のお姿、心より敬意を抱いたことを今も鮮明に記憶しております。

当時、先生は既に歯科部会長となり、ただただ驚嘆するばかりでございました。弱音を吐かれることは一度もなく、常に前向きな姿勢を貫か

を患われましたが、その気力・体力は少しも衰えることなく、むしろ一層のご活躍をなさっていました。弱音を吐かれることは一度もなく、常に前向きな姿勢を貫か

は、私の診療所までお越しいただいていましたと記憶しております。

先生のエネルギーは常に保険医運動に向けられ、またその活動が

先生に力を与えていたのではないかと推察いたします。十数年前に

は、私の診療所までお越しいただ

いていたと記憶しております。

先生のエネルギーは常に保険医

運動に向けられ、またその活動が

先生に力を与えていたのではないかと推察いたします。十数年前に

は、私の診療所までお越しいただ

いていたと記憶しております。

先生のエネルギーは常に保険医

運動に向けられ、またその活動が

先生に力を与えていたのではないかと推察いたします。十数年前に

は、私の診療所までお越しいただ

いていたと記憶しております。

先生のエネルギーは常に保険医

運動に向けられ、またその活動が

先生に力を与えていたのではないかと推察いたします。十数年前に

小笠原先生への感謝

監事 田中 敏章

小笠原先生が逝った。96才とご高齢であったが、この先生だけは元気な先生で、私たち歯科の会員を導いてくれた。協会の草創期から保険医運動の先頭に立ち、協会の役員としても会員のためにできることを常に考え、行動することを第一にしてきた熱い先生であった。神奈川県保険医協会、とりわけ歯科での中心、屋台骨であった。

が忘れない。とにかく明るく元気な先生で、私たち歯科の会員事務所入口左手の衝立に囲まれた小さなスペースで、いろいろ教えて語ってくれた。公助、共助、自助について三つの均衡が民主的な社会保障の成立条件であることを知った。

先生は歯科の運動、協会運動の中心でした。薦陶を受けた者の一人として今後も精進してまいります。小笠原先生には感謝ばかりです。長い間本当にありがとうございました。どうか安らかにお休みください。

おい、おまえ…

横浜支部長 洞澤 繁

初めてお会いしたのは歯科部会。幹事になりたての協会活動のいろはも分からぬ私のような若造にも優しく話しかけてくれ、時には厳しく意見もしてくれた。仲間として接してくれた。思い出深いのは、歯科部会で先生が企画してくれた社会保障研究会。社会

「おい、おまえ、中区のおまえ…」小笠原先生は長い間、私のことをそう呼んでいた。平成になつたばかりに開業した私は歯科医師会に当たり前のように入会し、すぐ広報委員を任せられ、

そこでいつの間にか保険医協会に入り、いつの間にか歯科部会の一員になつて、當時の歯科部会は、つわもの揃

いで、中でも小笠原先生は別格の存在であった。

読み込んで、天空の居酒屋「ズナック・スバル」あたりで大きな声で小笠原セミナーをやっているのではなかつて、私は思うのである。

師匠に感謝である。



⑤



④



⑥

故 小笠原先生の協会ご歴歴	
1975年	理事就任
1979年	副理事長就任
1999年	監事就任
2015年	顧問就任
*この他、歯科部会長、保団連参与等を歴任。	

【写真】

①国会行動、②保団連・関東ブロック協議会大会代表懇親交流会、③75歳以上の医療費2倍化反対！6.21スタート県民集会、④国会行動、⑤宣伝行動、⑥いのちまもる総行動、⑦理事学習会、⑧いのちまもる総行動、⑨、⑩医療・健康フェスティバル（⑨は洞澤氏撮影）



⑨



⑩



⑦



⑧

当时、先生は60代だったと思うが、今、その年齢になった私が痛感するのは超人的な、そのパワーとバイタリティーであり、到底まねのできない行動力である。

そして、いつも新聞を隅々まで読み込み、自分なりに解説する子

カラは80代後半でも衰えることはなかつた。

25年度補正予算 補助金の早期支給に向け、 県と情報連携を約束 県担当課と懇談



右から藤田理事・湯浅副理事長

医療運動部会は12月3日に県庁で、2025年度補正予算における医療機関への補助金支給に関する、県医療整備・人材課と懇談した。協会から湯浅副理事長・藤田理事が出席し、県からは鈴木課長ら3名が対応した。

今懇談では、11月28日に閣議決定された25年度補正予算を受け、今後医療機関への支給が予定される補助金（賃金分15万円、物価分17万円）について意見交換。協会からは①補正予算以外で県独自の補助金支給、②補助金支給に要件（例・ベースアップ評価料の届出）を付けないこと、③煩雑な手続きを省く、迅速に補助金を支給することなどを要請。湯浅副理事長は現在の医療機関の窮状とともに、地域医療は診療所と病

院が連携することで支えていた。一方で、手書きの簡素化は県に理解を示すも、県独自の裁量の部分であり、可能

よりも多くの先生方に医師・歯科医師が抱えるリスクへ備えていた。そのための共済制度を用意している。助け合いの共済制度は加入者が増えるほど、スケールメリットによって保険料や手数料の引き下げに繋がるものである。

2026年1月5日からは、グループ（生命）保険と従業員退職年金の5月1日加入の申込受付が始まることもあるが、温かく迎え入れ、説明をお聞きいただければ幸いである。

（第一生命）
グループ（生命）保険
／明治安田生命／富国生命
／太陽生命／東京海上日動
／あんしん生命

（第二生命）
グループ（生命）保険
／明治安田生命／富国生命
／太陽生命／東京海上日動
／あんしん生命

（第三生命）
グループ（生命）保険
／明治安田生命／富国生命
／太陽生命／東京海上日動
／あんしん生命

（第四生命）
グループ（生命）保険
／明治安田生命／富国生命
／太陽生命／東京海上日動
／あんしん生命

（第五生命）
グループ（生命）保険
／明治安田生命／富国生命
／太陽生命／東京海上日動
／あんしん生命

（第六生命）
グループ（生命）保険
／明治安田生命／富国生命
／太陽生命／東京海上日動
／あんしん生命

（第七生命）
グループ（生命）保険
／明治安田生命／富国生命
／太陽生命／東京海上日動
／あんしん生命

（第八生命）
グループ（生命）保険
／明治安田生命／富国生命
／太陽生命／東京海上日動
／あんしん生命

（第九生命）
グループ（生命）保険
／明治安田生命／富国生命
／太陽生命／東京海上日動
／あんしん生命

会員限定の共済制度をぜひご利用ください！

推薦と協会の研修を受けた選抜職員のみが参ります。なお、選抜職員は当会発行の「登録証明証」を必ず携帯しております。

普及期間中は保険医協会の共済制度のみご案内いたします。特定の会社の商品を案内することはございません。

普及活動に長年参加している職員からは、対人のプロが他者と接する際の心がけを窺い知ることができます。

当会の普及活動に長年参加している職員からは、対人のプロが他者と接する際の心がけを窺い知ることができます。

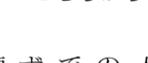
当会の普及活動に長年参加している職員からは、対人のプロが他者と接する際の心がけを窺い知ることができます。

当会の普及活動に長年参加している職員からは、対人のプロが他者と接する際の心がけを窺い知ることができます。

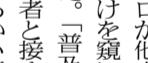
当会の普及活動に長年参加している職員からは、対人のプロが他者と接する際の心がけを窺い知ることができます。



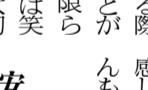
お問い合わせはから



お問い合わせはから



お問い合わせはから



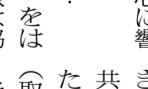
お問い合わせはから



お問い合わせはから



お問い合わせはから



お問い合わせはから



お問い合わせはから



お問い合わせはから

安心と信頼への架け橋

共済制度普及優秀表彰者インタビュー

会すれば保険を継続することもできる。加入の有無をともでいるので、保険事故が発生した場合に、まず協会に相談すれば請求手続きが滞ることがないことは特にありがたが

りである。「保険医協会の共済制度はとても魅力的である。まずは実際に伺った内容で人間関係における気付きも多くの学び深かった。

保険会社の職員は、日頃は保険料が安く、年に一度は保険料が支払われる。また、入院・自宅療養・代診を置いても給付対象となる。さらに、他院で開業・転勤しても当該

日々多忙の中で保険会社と聞くだけでシャットアウトしてしまうこともあるだ

り。別の職員によれば、昨今は保障内容が幅広い商品や貯蓄性のある保険がニーズを

普段活動を通して、会員から「協会をとても頼りにしている」、「協会に相談したところ、とても親切に対応していただき助かった」等の協会への信頼感を寄せられることが多いと聞き、我々の励みにもなった。

私達開業医は日々様々な

とが議論されているとは知らなかつた。「患者不在の議論でしからん」など、贊成する声が寄せられ、クリニックは一切なかつたという。

磯崎氏は「これまでストライキなどしたことはなかつたが、改定のたびに財務省から医療への圧力が強まつており、許せないという思いが募つた」医師会や病院団体がマスクを公表してい

度重なる財務省の医療費抑制に抗議 磯崎院長ら「1分間スト」が話題に

草の根の患者周知行動に賛同多数 協会も支持

26年度診療報酬改定の改定率を巡り、厚労省と財務省との攻防が激化する最中、当会会員（理事・政策部長）の磯崎哲男氏のユニークな取り組みが医療界で話題を呼んでいる。

磯崎氏は院長を務める小磯診療所（横須賀市）と県内系列9診療所の医師11名は、財務省の強引な医療費抑制や診療報酬引き下げ要求への抗議として「1分間ストライキ」を実施した。ストライキと称してはいる

11月28日午前10時30分、磯崎氏が院長を務める小磯診療所（横須賀市）と県内系列9診療所の医師11名は、財務省の強引な医療費抑制や診療報酬引き下げ要求への抗議として「1分間ストライキ」を実施した。ストライキと称してはいる

この行動は医療系情報サイトのm3.comで報道され、医師専用サイトには全国から

多くの賛同コメントが寄せられ、QRコードから（PDF）

12.3&12.4
国会行動

大幅プラス改定を年内最後の議員要請

協会は12月3日と4日の両日に国会行動を実施し、湯浅・二村両副理事長、藤田・小柳両理事が参加した。2日間で4名の議員と懇談。国会の会期末が迫るなか、年内最後の議員要請となつた。会員から集約した「地域の医療機関を守るため、緊急財政措置と診療報酬の大幅引き上げを求める医師・歯科医師要請署名」(以下、「診療報酬引き上げを求める」署名)1千388筆を懇談議員・秘書のか、内閣総理大臣・厚生労働大臣・財務大臣に提出した。

今回の要請内容は次の通り。①2026年度診療報酬改定において、基本診療TC類似薬を保険適用かと、③従来の健康保険証を



笠浩史議員 (衆・立憲)

医療崩壊阻止に向け取り組む姿勢

笠浩史議員 (衆・立憲)

診療報酬も含め、維新との連立政権となつた影響がどのように出てくるか注視が必要であるとした。

診療所経営にもきちんととした手当

篠原豪議員

高い平均で引き下げ

介護と同じ構図

大塚小百合議員 (衆・立憲)

復活を求める請願署名21

会集会

も、事業所得が平均500

万円ほど減っているのが実

際、保団連・関東ブロック

2万9千725筆を国会議員に提出した。

2月24日、

中西健治議員 (衆・自民)

と本予算での対応が必要

と見解を示した。

12月4日、

中西健治議員 (衆・自民)

と本予算での対応が必要

と見解を示した。

今年の重大ニュース

物価高騰・人件費増の中でも低点数 大幅プラス改定は必須

20年以上の実質マイナス改定に加えて、近年の物価高騰により医療機関の経営は危機的状況だ。「骨太の方針2025」には「コストカット型からの転換」や「力強い賃上げ」、「経営の安定」が明記された。経済・物価動向を踏まえて「加算する」等の文言も記載されたものの、秋の財政審にて診療所が診療報酬引き下げの標的となつた。次期診療報酬改定での大幅プラスを勝ち取るため、協会は様々な活動を展開した。

—次期改定「大幅プラス」に向けて財務省と懇談 最頻値での議論を

7月には財務省と懇談を行った。次期診療報酬改定を行うにあたっては医療機関経営の「24年度のデータ」で、平均値ではなく「最頻値」を基に議論すべきだとした。その他▽生活習慣病管理料の算定回数を減らさないこと、▽OTC類似薬は保険給付範囲から除外しないこと一等を訴えた。

—調査結果からわかる医療機関の経営悪化 3割の医療機関で原価割れ

確定申告後のデータを使用した「経営実態調査」の結果は、主に内科を中心とした昨年度比の経営状況の悪化を示した。「医療機関における『特定保険医療材料等の価格高騰に関する調査』」では、最大で保険償還価格の約7倍にもなっている材料もあり、約3割の医療機関が「特定保険医療材料において仕入れ額が償還額を上回っている（原価割れ／逆ザヤ）」と回答した。「検体集配有料化に関する影響調査」では、約2割の医療機関が委託先の臨床検査会社から検体集配の「有料化または値上げの提示を受けた」と回答し、いずれの調査結果からも医療機関経営の窮状が窺える。

—10%以上の引き上げ求めて署名1,388筆を提出「院長の給料を半分にした」

国会行動では、調査の結果や医療現場の声をもとに、次期診療報酬改定での10%以上の引き上げを求めた。「地域の医療機関を守るため、緊急財政措置と診療報酬の大幅引き上げを求める医師・歯科医師要請署名」を多くの会員に呼びかけ、12月に1,388筆を提出した。

また、10月には「物価高騰と地域医療」をテーマにした紙上企画“イエローページ”を募集し、74件のコメントが集まった。「院長の給与を半分にした」、「閉院を検討している」といった悲痛な声が届き、医療機関経営の厳しさを表す紙面となった。

11月には「財政審の社会保障に対する議論に抗議する／医療機関への補助金等による緊急対応、及び2026年度診療報酬改定は診療所・病院一体での対応を強く求める」理事会声明を発表。診療所が多大な利益を上げている訳ではないとし、病院への配分を目的とした診療所の適正化（削減）に抗議した。



厚労省記者クラブで会見

保険証の期限切れが与えた影響 複雑な資格確認方法も周知

8月1日の国保等保険証の期限切れについては、予め会員への周知を行った。NHKが保険証の期限切れを迎えた医療機関の様子として、千葉副理事長を取材。待合室で患者に説明する姿や、「患者に迷惑をかけたくないが、混乱はある」とのコメントが放送された。

12月2日からの社保加入者も含めた保険証の期限切れについては、26年3月末まですべての保険証が利用可能となることを新聞やホームページ等で周知。主な資格確認書類について図を用いて紹介した（右記QRコードからポスターをダウンロード可能）。



オンライン診療ビジネスの闇 健康トラブル・医療倫理崩壊の危険性説く

3月には医療政策研究室が頻回の取材や情報提供、継続的な情報連携で協力してきたNHKの記者らにより、自由診療ビジネスの闇を抉る番組が放映。文春オンラインでも取り上げられ、オンライン診療ビジネスの問題点を顕在化させた。政策部長談話では医療法改正で可能になる「オンライン診療受診施設」の開設について、「偽装クリニック」の温床となる可能性があると指摘している。



田辺理事長のもと第32期はじまる プラス改定で医療の未来を

6月の第70回定時総会で、田辺由紀夫先生が理事長に再任された。また新たに1名の理事が就任。今年度活動方針は「保険医が安心して『より良い保険医療』を国民に提供できる“未来”を創る—診療報酬大幅引き上げを求める運動の展開を—」を掲げた。



「ゼロの会」大阪協会が賛同

医療・健康フェスティバルで多様な企画も

6月にはオンラインイベント「みんなで語ろう窓口負担ゼロ～お金の心配なく医療にかかる社会へ～」を開催。兵庫県保険医協会が主催し、神奈川・千葉、今回新たに大阪歯科協会が共催した。基調講演は憲法から見た「窓口負担ゼロ」について。また各協会からも報告があり、「ゼロの会」の理念を改めて共有することができた。

10月に市民向けイベント「第26回医療・健康フェスティバル」を開催。市民と対話し、医療費の窓口負担「ゼロの会」のリーフレット・「保険証使い続けたい」署名はがき入りポケットティッシュ約2,700部と、医療問題の啓発を目的とした情報リーフレット約600部の配布を行った。



OTC類似薬の保険適用除外を阻止

自己判断による服薬で治療に遅れも

医療費削減策の一環で議論されているOTC類似薬の保険外しについて、主に政策部長談話で情報発信した。患者負担の増加や安全面での観点から問題提起を行い、OTC類似薬を保険給付の対象外にしないことを強く求めた。3月には同テーマで“イエローページ”を募集し、会員から健康への影響等を懸念する声が多く寄せられた。患者向けポスターも、待合室等での周知にご活用いただきたい（右図。ホームページよりダウンロード可能）。



後期高齢者・2割負担『配慮措置』期限延長を 理事会声明を発表

9月には、「後期高齢者・2割負担に対する『配慮措置』期限延長を強く求める」理事会声明を発表した。日本はWHO（世界保健機関）が示す「破滅的医療費支出」に国民の6人に1人が該当する等、窓口負担は低いものではないとし、国民の医療・健康を守るために「配慮措置」の継続を強く求めた。



第640回月例研究会 講演要旨

(2025年12月18日講演)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)・インフルエンザ およびその他の感染症と ワクチンの話題 2025

川崎市健康安全研究所 参与 岡部 信彦氏

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が、感染症法の第5類感染症となり、早くも2年半ほどが経過し、社会的にはすっかり落ち着いてきた様相となっています。過剰な怖れを持たなくなりしたこと自体は喜ばしいことですが、一方では消え去ったかのように感じている方々も多くおられます。この数か月は確かに小さい山での動きとなり、一般の方にとっては身近に重症者を感じることは少なくなり「たいしたことない病気にな

った」と思いがちですが、一定数の入院、ICU入室の方などもおられ、注意しなくてもよい疾患になったとは到底言えない状況です。重症化率などもインフルエンザ(季節性)に比べて高く、インフルエンザ以上の警戒感は必要かと思います。しかし、診断・治療・予防法については、確実に手の内が増え、これらを上手に使い分けながら説明、あるいは経過を見ていくことが出来るようになってきていると言えるのではないでしょうか。

そのインフルエンザは、COVID-19の大流行をはさんで疫学状況に大きな変化がみられており「例年では…」という説明が通用しにくくなっています。しかし本質的にインフルエンザ(あるいはインフルエンザウイルス)に大きな変化が現れてきたわけではなく、疫学状況を見ながら、こちらも増えてきた手の内を上手に使いながら対応していくことが基本的なことかと思います。

一方、マイコプラズマ、RSウイルス、溶連菌感染症、食中毒、梅毒などの感染症が、あたかも舞い戻ってきたかのように再び顔を出しています。これらの感染症の現状について当日お話を申し上げたいと思っておりますが、これらの疾患の流れが掴めるのは、医療機関それぞれから報告(届け出)が行われているからこそですので、引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。

COVID-19の出現によって、新たなワクチン(m-RNAワクチン等)の開発導入が急速に進みましたが、この間、あるいはその後にかけて、ロタウイルスワクチンの定期接種化(2020.10)、HPVワクチンの接種勧奨再開(2022.4)、そして9価ワクチンの定期接種導入(2023.4)、ワクチン接種間隔の変更(2020.10)、5種混合ワクチンの定期接種導入(2024.4)、

肺炎球菌結合型(PCV)15価続いて20価ワクチンの定期接種導入(2024.4/2024.10)、新型コロナウイルスワクチンのB類定期接種化(2024.4)、帯状疱疹ワクチンのB類定期接種化と組み換え型ワクチンの導入(2025.4)などが定期接種関連として行われました。また任意接種ではありますが高齢者あるいは妊婦に対するRSウイルスワクチン、経鼻投与インフルエンザ生ワクチン、ダニ媒介性脳炎ワクチン、腸チフスワクチンなどが新たに導入されました。

風疹については5期接種などが導入され風疹対策が強化されてきたところですが、国内での「土着風疹ウイルス」の感染伝播は5年間ないこと、先天性風疹症候群(CRS)は、2021年第2週に1例報告があった以降発生していないこと、などから日本は風疹排除国であることが2025.9にWHOによって認定されたのはビッグニュースで、一線の臨床の先生方、行政の方々、そして一般の方々など多くの方々のご理解とご協力の賜物と、この場を借りて深く御礼を申し上げます。

講演会当日は、これらCOVID-19、インフルエンザそしてその他の感染症及びワクチンに関する最近の話題についてお話を申し上げる予定であります。

研究会案内

※研究会に会場参加の際は、マスク着用・手指の消毒等の感染症対策にご協力ください。また発熱症状等がある場合は参加をお控えください。

※新型コロナウイルス感染拡大や天災等により、急遽開催形式を変更または中止させていただく場合がございます。その場合は当会HP「いい医療ドットコム」にて適宜お知らせします。予めご承知おき願います。

※協会行事においては、その模様を写真撮影し、記事とともに機関紙に掲載することができますので予めご了承ください。

神奈川県保険医協会 WEB参加の申込みは、協会HP「いい医療ドットコム」のイベントカレンダーからもできます。「神奈川県保険医協会」で検索を！

1月27日(火)午後7時30分～

2026年1月14日(水)午後7時30分～

共済セミナー

ところ 協会会議室・WEB併用

テーマ 「ドクターとして最低限知つておきたいお金の知識【2026年】」

講師 東京海上日動あんしん生命保険㈱横浜支社
エグゼクティブ・ライフパートナー
ロイヤルメンバー 石原 香介氏

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)
参加方法 ①か②いずれか
①協会会議室
②WEB参加 下記QRコードもしくは協会HPよりお申込み



※日医生涯教育講座CC「11(予防と保健)」
1・0単位申請中
お申込み 地域医療対策部

※医師番号の入力について(下記《重要》参照)
②WEB参加 下記QRコードもしくは協会HPよりお申込み



講師 医 恒久会 江口歯科医院
院長 江口 康久(万氏)
参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)
参加方法 ①か②いずれか
①協会会議室
②WEB参加 下記QRコードもしくは協会HPよりお申込み

テーマ 「歯科保健活動を通して、見えてきたインフルエンザ感染との関係」

講師 医 恒久会 江口歯科医院
院長 江口 康久(万氏)
参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)
参加方法 ①か②いずれか
①協会会議室
②WEB参加 下記QRコードもしくは協会HPよりお申込み

テーマ 「歯科保健活動を通して、見えてきたインフルエンザ感染との関係」

※「講演会は参加できないが、別日で講師に個別相談したい」といったお声を受け、セミナーに不参加でも無料個別相談が可能です(日程は講師と個別調整となります)。その場合でも、まずはウェビナーからご登録をお願いします。個別相談のみお申込みの場合でも、当日セミナーのリマインドメールは送られてきますがその点ご容赦願います。

※講演の後日配信はございません。当日リアルタイムでご覧ください。

お申込み 共済部・精神保協

※「講演会は参加できないが、別日で講師に個別相談したい」といったお声を受け、セミナーに不参加でも無料個別相談が可能です(日程は講師と個別調整となります)。その場合でも、まずはウェビナーからご登録をお願いします。個別相談のみお申込みの場合でも、当日セミナーのリマインドメールは送られてきますがその点ご容赦願います。

※講演の後日配信はございません。当日リアルタイムでご覧ください。

お申込み 共済部・精神保協

歯科特別研究会

本研修会は在宅療養支援歯科診療所(歯援診)と口腔管理体制強化加算(口管強)の施設基準対応研修会です。「高齢者的心身の特性(認知症に関する内容を含む)・口腔機能の管理・緊急時対応、歯科疾患の重症化予防に資する継続管理、小児の心身の特性」についての内容に加え、口管強の施設基準の選択式項目にあります「在宅医療または介護に関する研修」、「認知症対応力向上研修」にも対応しております。

ところ 口腔管理の施設基準研修会

テーマ 「ドクターとして最低限知つておきたいお金の知識【2026年】」

講師 東京海上日動あんしん生命保険㈱横浜支社
エグゼクティブ・ライフパートナー
ロイヤルメンバー 石原 香介氏

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)
参加方法 ①か②いずれか
①協会会議室
②WEB参加 下記QRコードもしくは協会HPよりお申込み



※「講演会は参加できないが、別日で講師に個別相談したい」といったお声を受け、セミナーに不参加でも無料個別相談が可能です(日程は講師と個別調整となります)。その場合でも、まずはウェビナーからご登録をお願いします。個別相談のみお申込みの場合でも、当日セミナーのリマインドメールは送られてきますがその点ご容赦願います。

※講演の後日配信はございません。当日リアルタイムでご覧ください。

お申込み 共済部・精神保協

※「講演会は参加できないが、別日で講師に個別相談したい」といったお声を受け、セミナーに不参加でも無料個別相談が可能です(日程は講師と個別調整となります)。その場合でも、まずはウェビナーからご登録をお願いします。個別相談のみお申込みの場合でも、当日セミナーのリマインドメールは送られてきますがその点ご容赦願います。

※講演の後日配信はございません。当日リアルタイムでご覧ください。